



人々の支え

校長 小松 進一

ー 縄文人の優しさ ー

皆さんも知っている「車椅子の物理学者」のホーキング博士（スティーブン・ホーキング：イギリス生）は、21歳の頃、難病のALS（筋萎縮性側索硬化症）と診断されました。この病気の特徴は、手足・喉・舌の筋肉や呼吸に必要な筋肉がだんだんと痩せてしまい力がなくなっていく病気です。当時、ALSは発症してから5年程度で死に至る病気と考えられていました。人生これからという若さの時にこの診断結果は、どんなにショックだったのか。しかし博士は、2年後に結婚し、子どもができて家庭をもち、やがてケンブリッジ大学の物理学教授になります。発症から50年以上にわたり研究活動を続け、晩年は意思伝達のためにアイトラッキング（視点の場所や頭部に対する眼球の動きを計測し、追跡する方法）による重度障がい者用意思伝達装置を使用し、スピーチや会話はコンピュータプログラムによる合成音声で行うなど、現代医学の進歩や人々の助けによって76年間の人生を送ることができました。

さて、昔はどうだったのでしょうか。北海道洞爺湖町（とうやこちょう）にある縄文時代の遺跡「入江・高砂貝塚（いりえ・たかさごかいづか）」について調べてみました。

貝塚は入江貝塚と高砂貝塚に分かれますが、入江貝塚は、昭和の初めに発見されました。幾度となく発掘調査が行われましたが、昭和41年から42年にかけての調査で15体の人骨が発掘されました。その中の1体は、「入江9号」と呼ばれる人骨で、頭を北北東に向け、膝と腰を折り曲げた屈葬の状態で、石製の銚（もり）先と共に出土しました。調査を進めると、この人骨は、手足の骨がすべて細く萎縮し、手足の骨の正常な力学的構造が完全に失われていることなどがわかりました。さらに、頭部の骨

や歯の特徴などから、10代後半の女性と推定され、おそらく手足の筋肉は全くないも同然、歩くことも立つこともできない、手も弱いため言うこともできず、食事でも自分ではできなかつたと推測されました。そうした状況に至る可能性のある病気は、ALSや急性灰白髄炎（ポリオ）等であるとも結論付けられました。これらを研究し発表された論文（※1）には次のように記されています。

『幼少期に本症に侵され、四肢の筋の重度の麻痺という日常生活に著しい障がいを生じ、その結果恐らく十数年に渡って長く寝たきりの生活を送らざるを得なかつたであろうこの個体の存在は、縄文時代という生存条件の厳しく、医療の未発達な原始的社会において、すでにこのような重度の身体的障がいをもつ者を受け入れ、周囲の手厚い看護と社会保障がなされていた時代であったということを示す貴重な症例であると考えられ、・・自分の力で自分の生命をささえることが出来なかつた女性が、数年の間生きつづけたという事実は、縄文後期の入江式土器人の精神生活とその社会構造を知るうえに重要なことであり、極めて興味深いものがある。』

※1 「北海道入江貝塚出土人骨にみられた異常四肢の古病理学的研究」人類学雑誌（鈴木隆雄ほか1984）

障がいがある人を助けたり、死者に花を手向けたりできることが、他の動物と人間との大きな違いであるとも言われます。身体の不自由な子どもを縄文人が可能な限り世話をしていたであろうこと、そしてそのような障がいのある人が原始社会にあっても親切に受け入れられていたことは、現代を生きる私たちも知っておくべき教訓ではないでしょうか。縄文人の「心の温かさ」「優しさ」「人を思う心」を考え、現代を生きる私たちも自分事として考え続けて生きていきたいと思います。

【10・11月の主な予定】

17日(火)…生徒総会	2日(水)…読書月間始 避難訓練 専門委員会 学校委員会
24日(月)…生徒朝会	4日(金)…漢字検定
25日(火)…学校運営協議会	7日(月)…三者面談(3年) ～11日
27日(木)…合唱祭	11日(金)…放課後スタディ ～15日
28日(金)…区連合文化祭 ～30日	12日(土)…土曜授業 PTA 運営委員会
31日(月)…東京都教育の日	14日(月)…朝礼 安全指導

※今月の主な予定は発行時点のものです。社会情勢等の変化により、変更となる場合があります。

大きな予定の変更などは、学校配信メール等でお伝えします。

教育活動の紹介

【生徒会役員選挙】

9月26日(月)に生徒会役員選挙が実施されました。今年度は、昨年コロナ禍で実施できなかった体育館に全校生徒が集まり立候補者・応援演説者の演説を聞く立会演説会を実施することができました。また、たくさんの立候補があり、立候補者は放送演説や校門での呼びかけ、立会演説会といった選挙活動を通して、東原中学校をよりよくしていくための方策を全校生徒に向けて発信していました。選挙管理委員会を中心に実際の区政で使用される記載台や投票箱を準備する等、18歳から主権者となり、政治に参加していくことへの意識を高めることもできました。



【修学旅行 9月28日～30日】

コロナ禍ではありますが、9月28日(水)から9月30日(金)の3日間で修学旅行を無事に実施することができました。年間行事の予定通り実施できたのは、実に3年ぶりでした。マスクを着用しての生活や食事での黙食等の制約がある中での実施でしたが、生徒たちのたくさんの笑顔で溢れる修学旅行となりました。1学期から自分たちが訪れる寺社仏閣等を事前に調べ、入念な準備をしてこの修学旅行に臨むことができました。ただ楽しむだけではなく、京都・奈良の風情や歴史ある建造物等を実際に目の当たりにすることでたくさんの学びや知識を得ることもできました。また班行動や宿舎での生活から、仲間と共に過ごせる幸せや協力することの大切さを改めて実感することができました。帰りの新幹線の中では、「帰りたくない」・「また行きたい」という声がたくさん聞かれ、3学年教職員一同本当に実施することができて良かった実感しました。これも保護者の皆様のご協力と生徒たちの頑張りのおかげであります。ありがとうございました。この経験を生かして、中学校生活最後となる合唱祭、そして受験や卒業式に向かってくれると確信しております。改めまして、様々なご協力とご理解ありがとうございました。



杉並区立東原中学校 学校だより「ひがしはら」

Tel : 03-3390-0148 Fax : 03-3390-3588

【留守番電話対応 18:30～7:30】